

第1回きずなづくりトーク（佐野小学校区） 概要記録

平成24年5月31日
北上文化プラザ

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	見晴台は14歳以下の子どもの数が全自治会でトップ。現在は老人会連合会に入っていない(休会中)が、自治会連合会と老人会連合会が連携できるようになれば復帰する。見晴台の老人会(ひまわり会)の会員は現在90人程度。子ども会と老人会と一緒に活動できるようにしていきたい。災害時の支援について、市から要介護支援者リストが届いたが、不十分だと思う。母子家庭などについての情報もほしい。支援については市と地域の自治会が連携して行うべき。北上小学校はスクールガードをしているが、中学校になるとそういう活動がなくなってしまう、小学校6年間の活動が途切れてしまうので残念。災害時などに中学生の力を借りたいので、現在会議で防災活動について検討している。地域支援包括センターをもっとPRすべき。15名在籍するやじうまグループというボランティア団体があり、強制ではない高齢者への訪問を行っている。防災訓練を年に5,6回行っている。避難完了という札を玄関に掲げるようにしている。
自治会長	佐野には現在老人会がない。世代交代ができずになくなってしまったので、復活に向けて検討していきたい。小学校の先生と夜間パトロールを行っている。スポーツ活動については体育振興会の力で盛り上げてほしい。ソフトボールの案内が来るが、佐野で活発にできるかは疑問なので、広報活動が必要。防災訓練と地域の運動会を同じ日に開催すればいいのでは。先日、産業廃棄物の監視をした。きれいなところにゴミはないが、汚いところにまとめて捨てられている。道路の清掃をすれば、ゴミが捨てにくくなる。佐野では組単位で道路の清掃を昔から行っている。回数は年1回から5年前に2回に増えた。住民は、清掃などやるべきことをしないと市に意見を言えない。熱心にやれば親の努力を子どもに見せられる。バス停あたりに花を置き、桜の木を植えたい。老人会を再び作って、今ある婦人会と協力して花の世話をしてもらおう体制を作りたい。
民生委員	佐野地区は昔は淡島講などの細かい行事が多すぎて面倒だった。若い世代が入ってきて行事が簡略化され、すごしやすくなった。ほどほどの付き合いが良いと思う。若い世代も神社のお祭りの祭典に参加しており、地域に溶け込めている。
女性懇話会	私たちは農協婦人部の婦人会で、佐野には婦人会がない。役員になると、祭りの手伝いなどが負担になって辞めてしまう人が多い。若い世代を引き入れていきたい。
子ども会	私が子どもの頃は誰がどこの子どもかわかっていた。今は子ども会長をやっているにしてもそういったことがわからない。子どもが40人ほどいるので会員が少なすぎるわけではないが、地域の人々の協力がないと子ども会の運営ができない。
小学校PTA	学校とPTAは強いつながりがあるが、地域とのつながりは弱い。行事が年々少なくなってきた。佐野っ子舞、ウォークラリーなどの交流の機会がなくなってきた。PTAの活動として何ができるか、1年しかない任期の中で考えることができればいいが。
自治会役員	子育て支援室から自治会に案内があった。子どもが生まれたときに補助金がある(子どもは地域の宝事業)。対象者はいたが、自治会へ住所などの個人情報を知りたくないと拒まれてしまった。社会へ関わりたくないのだろうか。9人中1人だけ、連絡を許可してくれたが、少なすぎたので、自治会でのお祝いができなかった。

発言者	発言要旨
子ども会	小学校では連絡網があるが、管理が厳しい。中学校では連絡網がないので、年賀状も出せない。子どもは携帯電話でしか連絡を取れないので、携帯を持っていない子どもが集まりに誘ってもらえない。
小学校長	学校では、住所録の扱いが近年になって急激に厳しくなっている。緊急連絡網も保護者の許可を得られなければ作れない。親同士も連絡先を知らないので、つながりができない。トラブルがあった際は、学校が仲裁するが、親同士の連絡先は同意が得られないと教えられない。
民生委員	見晴台1丁目は要支援者は15名いる。家族不在時は自治会へ支援を依頼するが、連絡先は公表しないと言われていた。民生委員は要支援者の住所は知っているが、電話番号は知らない。
スポーツ推進委員	年間2回の行事を行っている。6月にソフトバレーボール大会を行っており、当たっても痛くないゴムボールを使用している。女性チームが10チーム集まってくれ、合計50チームで行って盛り上がった。11月にティーボール大会を行っている。
環境美化推進委員	昨年は小学生、中学生とPTAがミックス古紙の説明会に参加してくれた。エコキャップをやるという話を出してくれた。小学生、中学生の意見をどんどん取り入れていきたい。ミックス古紙を再生古紙に回すという話になったが、古紙には個人情報も入っているのが難しい。子ども会の数が減っている。自治会が子ども会を守っていくべき。
スポーツ推進委員	6月に春の遠足、秋には秋の遠足を体育振興会主催で行っている。数年前からやり始めたが、まだPR不足だと思う。今年は箱根の里まで往復5kmほどのコースを歩いてプラネタリウムを見てもらう予定。シャギリを一昨年からスタートした。今年から見晴台が初めて子どもシャギリに参加する。参加者は子ども35名、指導者20名ほど。個人情報の問題はあがあるが、参加者の連絡網は強制的に作らせてもらっている。連絡先がわからなければ活動にならない。
消防団長	個人情報については皆さんがメールアドレスなどを教えてくれている。見晴台の消防団員は親を継いでいる人が多いが、婿の人などいろいろな人が入ってくれている。
体育振興会	体育振興会委員になって今年で10年目になる。三島市には14の小学校区があり、それぞれの体育振興会で連絡を取り合う連絡協議会の理事をやっている。他の地区の理事の話の話を聞くと、佐野小学校区の振興会は恵まれていると思う。1年で振興会の役員が総入れ替えされる地区もあるようだ。佐野小学校区は役員の任期が5～10年ほどの人が多いのでやりやすい。三島市は体育に力を入れているが、校区祭の景品を買うための市からの交付金は減っている。市や自治会からの補助をお願いしたい。
保健委員	健康診断の普及のため、まずは保健委員自身が健診を受けるようにしている。みんな病気が見つかって良かったと言っている。お金はかかると思うが、健康診断を受けてほしい。
女性懇話会	女性の学習意欲が高まっており、北上女性学級には160名の学級生がいる。年2回の旅行があり、勉強の発表会などが活発。学級生の高齢化が進んでおり、60～70代が多くなってきた。個人情報について、160名全員については公表していないが、20名程度からなるクラスごとには公表している。女性が参加する団体は多いが、定年後の男性についても社会に出る場があれば良いと思う。
自治会役員	6年間、環境保全を行っており、田植えをしたり、水路を修理したりしている。佐野小学校の近くにブルーベリーを植える活動をしている。上手くいっておらず、補助金も打ち切られてしまったが、活動を続けていきたい。

発言者	発言要旨
自治会役員	佐野自治会でアンケートを行い、コミュニティセンターを作ることに賛同を得られたので、土地探しから始めていく。佐野は老人会と婦人会はないが、子ども会の活動が活発で、去年は子ども会のシャガリが良かった。文化祭の展示物が北上公民館で展示されるので、見学して文化に興味をもってほしい。
自治会長	佐野小学校に放課後児童教室があるが、防災訓練を行ったときは待機児童が45人いたので、教室が狭くて窮屈そうだった。自治会ではできないので、市が改善してほしい。一昨年行方不明者が出たが、一昨日に発見された。協力してくれた皆さんにお礼を言いたい。対応に苦労したので、マニュアルを作って自治会長に配布しておきたい。